



## Close up

「日本一のバドミントン部を目指して」  
特任准教授・バドミントン部監督 松浦進二

入学式・オリエンテーションのご報告  
海外留学/日本文化・日本語研修プログラム

エクアドル地震復興支援/熊本地震ボランティア  
学長ビジョン③「リベラルアーツの学びを深める学生寮」  
授業紹介⑦「国際人権論」/敬和学園財務状況等のご報告



## アクティブラーニング紹介⑦ 「JCLP 留学生支援」

敬和学園大学では、海外の大学生向けに「Japanese Culture and Language Program (日本文化・日本語研修プログラム)」という短期留学プログラムを実施しています。

参加する海外の学生たちは、活動を通じ、日本文化と日本語を学び、フィールドトリップ等での体験を通じて日本の文化に触れていきます。また、本学の学生たちにとっても、留学生との生きた英会話を介したさまざまな交流の機会が用意されており、日本にいながら異文化交流ができる場となっています。

## もくじ CONTENTS

Close up .....	1
「日本一のバドミントン部を目指して」 特任准教授・バドミントン部監督 松浦進二	
入学式・新入生オリエンテーションのご報告 .....	4
自身の生き方と未来の可能性を豊かにする留学制度…	6
英検対策講座と資格特待生のご案内 .....	6
「日本文化・日本語研修プログラム」のご報告 .....	7
3年生保護者就職懇談会のご報告 .....	7
エクアドル地震の復興を支援、熊本地震ボランティアに参加して…	8
学長ビジョン③「リベラルアーツと学生寮」 .....	9
2016年度後援会総会のご報告 .....	10
授業紹介⑦「国際人権論」藤本晃嗣 .....	11
同窓会リレー・エッセイ⑳ .....	12
「選手・社会人のベースにある敬和教育」武下 利一 (18期生)	
キャンパス日誌 (4月～7月) .....	13
敬和学園財務状況等のご報告 .....	14

〈表紙写真〉  
中部学生バドミントン選手権大会、  
男子ダブルスで優勝した小川桂汰・興石悠ペア

# 日本のバドミントン部を目指して

## ●敬和学園大学に来たきつかけ

新潟国体を控え、バドミントン部を強化している大学があると、親友である関東第一高校の渋谷先生から紹介されたのがきっかけです。当時の宇田川事務局長から電話が入り、横浜のホテルでお話ししました。監督になるために、選手とチームに対するバックアップをいくつもお願いしたところ、宇田川さんはすぐにご利用の条件を受けてくれて、本気で全国を目指したいとおっしゃってくれました。その熱意を感じ、一週間で返事をしました。敬和にきた理由は二つあって、チームを立ち上げることの魅力と自分の監督としての成長のためでした。大学生に指導することは初めてで、そこへの期待と希望の気持ちが大きかったです。

## ●現役時代の活躍

バドミントンをはじめたのは、中学生の時です。当時の夢はプロ野球選手でしたが、中学校に野球部がなく、バドミントン部に入部しました。何度も辞めようと思いましたが、先生が熱心で辞めさせてくれなかった(笑)。二年生から試合に出て、勝ったら楽しく、負けると悔しい。それで夢中になって、団体は近畿大会で優勝、県代表チームで全国八位になりました。しかし、高校はスポーツ進学せず、近くの公立高校に進学しました。

当時は、それなりにバドミントンができればよいと思っていました。それでも、高校三年生で開催されたびわこ国体の強化選手に選ばれ、夜間練習と合宿で成長させてもらい、インターハイのシングルスで優勝、団体は団体優勝しました。大学は、一〇大学くらいから勧誘を受けたのですが、法政大学の監督がとにかくこかった(笑)。インターハイの上位四人が法政大学に行くことが決まっていた中で、監督から「大学選手権で優勝しよう!」と手を出されて、思わず握手をしてしまった。もういいかな、ここでがんばろうと思ったんです(笑)。一年生は部の仕事と練習の両立はきつくて地獄でした。しかし、すぐにリーグで優勝できました。全日本総合選手権では、二年生でダブルス初優勝、三年生の決勝で負けたのが本当に悔しく、その時の銀メダルは捨ててしまいました。四年生で再び優勝し、そこからは勝ち続けました。

## ●世界で活躍するために

海外での大会に出るようになり、すぐにレベルの違いを感じました。選手の置かれている環境、試合で食っていくためのハングリー精神とパワーがまったく違いました。それを知ってからは、国内大会のことは気にも留めず、海外の試合でどうしたら勝てるのか、そればかりを考



# Close up

特任准教授・バドミントン部監督  
松浦 進二

えていました。

国ごとに選手の個性とプレイスタイルが違いました。アジア人はあがった球を見逃さず、果敢にスマッシュで攻めるスタイル。私は、デンマークやスウェーデンといったヨーロッパの選手たちが華麗に球をつなげていくプレイスタイルに憧れ、それを見て自分のスタイルをつくってきました。インドネシアの選手がパンパン打ってくるのをすべて拾ってつなげていきましたよ(笑)。レシーブの神なんて言ってくれる人もいますが、この手首の動きは、自然にできるようになっていました。ダブルスの相手の松野修二とは、アジアとヨーロッパのよさを併せ持ったプレイを目指し、練習を重ねました。そうしているうちに、二四歳くらいからは海外でも勝てるようになりました。当時、日本では敵がいなかったのですが、こうして世界に挑み続けることでさらに強くなれました。ポンと海外に行っても戦えないですよ(笑)。

### ●大学生を指導することの意味

敬和に来るまでにさまざまな年齢の選手を指導してきて、日本のバドミントン界全体のレベルアップのために、大学生を指導することの大切さを感じていました。小さいころに大人が教えずぎるのもよくないかもと感じています。身体が大きくなると小さい時の悪い癖を力で押し切ってしまうようになり、それ以上勝てなくなってしまうんです。そういった選

手を何人も見てきました。しかし、大学生の時なら、まだプレイスタイルを変えられることができます。高校生や中学生は一週間で変わりますが、大学生はもう少し時間をかけて、最初の一、二年生の時が勝負です。ここが指導者として面白いところであり、私が監督として挑戦していかねばいけない部分です。さらに大学生は、技術的な指導はもちろん、バドミントン競技だけでなく、卒業後に社会人として働いていくための人間的な成長も必要で、やりがいがあります。

### ●「松浦流」指導法

これまで素質のある選手、努力型の選手など、多くの選手を育ててきました。選手には常に話していますが、基本動作を常に意識させるようにしています。試合ではどうしても癖が出るものです。大事な動作が自然にできるように、繰り返し、繰り返し練習させます。

敬和の卒業生で、現在、実業団チームのトナミ運輸に所属し、ナショナルチームでも活躍する武下利一を指導する時にも、彼の持つプレイスタイルに自分の指導をどうプラスにしていかに苦心し、彼の成長の段階ごとに接し方を変えてきました。武下の調子が悪い時こそ、基本の基本をやらせました。本人も私も勝てると思って臨んだ三年生のインカレでは、準決勝で負けて涙しました。その翌年は、春の佐渡合宿からもう一度基本の基本からやり直し、スタートしました。



教え子の藤原達矢コーチ(中)と共に指導

それが四年生でのニュージールランド・インターナショナルチャレンジ優勝、日本ランキングサーキット二連覇、インカレ全国制覇につながったと思います。

### ●敬和学園大学の人間教育

敬和に来た当時の後宮理事長とお話したことを思い出します。「人間間違いを起こすことがある。しかし、その罪を償った後、社会への復帰を支えてあげることが大切だ」と。この言葉があって、七年間、この大学でバドミントン部員としてそれ以外の学生たちと接していく中で、五〇歳を過ぎてようやくなんです、自分自身が人間的に成長できたと思っています。自分自身、中学生の時は悪さばかりでした。今でも学生たちに対し、カーッとなる時もあるのですが、そ

んな時にこそ、後宮先生の言葉を思い出します。自分のかわる学生たちは、何があっても守っていきます。ただし、学生たちには、いい加減な試合は許しません。試合での姿勢は、社会人になってからの仕事への取り組みにつながります。きちんと社会で活躍できるように、学生たちと本気でぶつかっています。

### ●敬和バドミントン部の魅力

監督に就任し、はじめは勧誘がどうなるのか心配でした。おかげさまで今年はトップ選手が五人、そのほか三人が入学してくれました。選手獲得は、毎年気が抜けません。彼らはみんな、これからの成長が期待できる選手なので、インカレベスト四には入れて、実業団に入れるような選手に育てたいと思っています。



今年度からアーチェリー部の監督も兼任  
(右は小林舞コーチ)

地方の小さな大学ですが、関東の有名校以上に競技に対するバックアップがあります。そして選手として四年間過ごした後の就職まで面倒を見る、これだけ力を入れている大学は他にはないです。来てもらったら、うちのよさはすぐに分かる。とにかく、教職員の皆さんが丁寧にしてくれる大学です。今年からは、学生寮もできて、チームとして集団生活も行っていきます。

新潟は肉も魚もおいしい、佐渡の寒ぶりも回転寿司もみんなうまい。こんな新潟で、本気で日本のトップを目指して若い選手たちががんばっています。

### ●今後への意気込み

「インカレ団体で勝ちたい」、敬和に来た時から思いは変わっていません。まだまだ自分の理想には届いていません。段階を踏んで上り詰めていきます。

また、今年からアーチェリー部の監督も兼務しています。こちらは、まだ戦う集団になっていません。みんなが自分たちを見守り応援してくれていることを意識させ、まわりにきちんとあいさつをすることからスタートし、戦う集団に変えていきます。そして、アーチェリー部とバドミントン部を切磋琢磨させていきます。

今年からは、実業団でも活躍した卒業生の藤原達矢がコーチとして入ってきました。そして入学してきた一年生には、中部大会で優勝のチャンスがあります。

です。ジュニアナショナルチームで活躍した小川桂汰を大会までどこまで伸ばせるか、そして、桂汰に巖石悠と小高一純久保田雄貴、中家拓巳がどこまで追いつけるかが次の大会の力ギです。  
(インタビュー後に開催された中部学生バドミントン選手権大会でシングルス、ダブルス共に優勝しました)

### ●松浦監督の考える「監督の仕事」

とにかく「試合で結果を出す」、この一点に尽きます。しかし、このために、選手のスカウトや入学後の人間教育、卒業後の就職など、さまざまな面で動かななくては結果につながらない。キツイ仕事ですが、こうやって好きなことをやらせてもらっていることに感謝し、この仕事に取り組んでいます。

(聞き手：企画広報委員会)

## Profile

松浦進二  
特任准教授・バドミントン部監督  
プロフィール

#### ●最終学歴

法政大学社会学部社会学科

#### ●バドミントン戦績

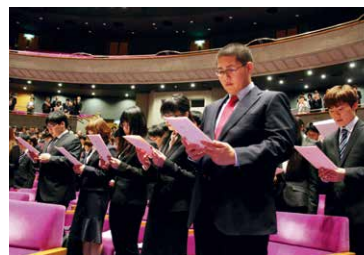
法政大学時代からのパートナーである松野修二氏とのダブルスで、1983年および1985年～1993年の全日本総合選手権で9年連続10回優勝、シングルスでも1986年、1988年、1990年と3回優勝し、さらに1992年のバルセロナオリンピックでは、ダブルスで5位入賞を果たしました。

# 大学生活スタート、

二〇一六年度の入学式が四月五日に挙行されました。讚美歌斉唱、下田尾治郎宗教部長による祈祷のあと、新入生一人ひとりの名前が読み上げられ、山田耕太学長が新入生の入学許可を宣言しました。式の後には、入学前に二回行われたスクーリングで顔見知りになった仲間同士が集まり、談笑する姿も見受けられ、新入生たちは、笑顔で大学生活のスタートをぎりしました。

四月一五日には、本井康博元同志社大学神学部教授をお招きし、「リベラルアーツカレッジで学ぶー同志社・ICU・敬和ー」と題して新入生歓迎公開学術講演会を開催しました。新入生たちは、敬和学園が設立してからの歩みを確認し、この大学でリベラルアーツを学ぶことの意義を理解することができました。

入学式から二週間ほどした四月二一



入学式での讚美歌斉唱



新入生代表による宣誓



大学生活、楽しみます！



学生団体紹介での新入生勧誘



新入生歓迎公開学術講演会

## 新しい挑戦を支えてくれる大学

国際文化学科一年

渡邊 瞳



新しく何かを始める時というのはいつでも期待と不安が入り交じるものですが、敬和学園大学への入学は私にとって特別に緊張するものでした。人見知りせず人に話しかけられるのか、サークルで先輩に失礼な態度をとらないか、一人暮らしでやっていけるかなど不安の種はいくつもありません。

しかし、実際に入学すると、それらの心配は杞憂に終わりました。なぜなら、毎日が新しい挑戦で、結果にかか

わらず、挑戦できたことに感謝できるようになったからです。入学して感動したことは、自分が行動を起こしたいと思うことに対して、応援してくれる人や手助けしてくれる人の多さでした。授業とは関係のない内容でも、学びたいことを教えてくれる先生方、こんなことをしたいという夢を語ったら、「じゃあ、本当にやるうよー」と言ってくれる友人、実際に行動に移すために必要な手続きやアドバイスをくれる職員の方々：…などたくさんの方の支えがあって、日々を過ごすことができるのだと強く感じます。

周りへの感謝を忘れず、これからも意欲的に新しいことに挑戦し、野心を持って大学四年間を意義あるものにしていきたいと思います。

# 新入生たちの大学生活がスタート



お花見ランチ恒例、学長からの差し入れ



オリエンテーションでの楽しい食事



仲間と親睦を深めるクラス別集会



クラス対抗レクリエーション



入学記念植樹礼拝

日、二三日には、新入生が集団行動を通じて、多くの友だちをつくり、今後の学生生活の準備をすることを目的とした新入生オリエンテーションが地元新発田市内にある月岡温泉で行われました。ビンゴゲームやクラス別集会、クラス対抗レクリエーションが行われました。また、温泉でのおいしい食事とゆったりとした時間を共に過ごすことで、参加する学生同士や教職員とが、友情や親睦を深めるよい機会となりました。

五月一三日のチャペル・アッセンブリ・アワーでは、入学記念樹植樹礼拝が行われました。ユリノキは大きく育つ木です。参加者それぞれが自らの成長に重ね合わせてユリノキの成長を祈りました。新入生の皆さんが、これから大きく成長していけるよう、共に四年間の歩みをすすめていきたいと思えます。

## 学びの源はすべて自分から

英語文化コミュニケーション学科一年

佐藤 大心



大学入学前の不安はありませんでした。一人暮らし、新しい出会い、リベラルアーツで学ぶことへの期待が大きかったからです。それと、入学前スクーリングで、一緒に入学する仲間や先輩の話聞いたことが大学への期待に一番つながったと思っています。

入学して一番印象的だったことは、授業の雰囲気がとてもよいことです。

高校まではただ先生の話を聞くという印象でしたが、敬和学園大学の授業の多くは少人数のため、自分の意見が言いやすいです。先生が質問に一つ一つ丁寧に答えてくれるので、自ら意欲的に取り組めば取り組むほど自分のスキルを伸ばすことができます。

学びを通じて一番大切だと思ったことは「積極性」です。待っているだけでは学びたいことも学べません。友人関係もそうです。自分から広げようとするからこそ実りのある関係が生まれます。自分からチャンスを探すこともとても惜しいことです。欲しいものは欲しいだけがなく、取りにいかなくてはなりません。自分に負けず、しかし無理はせず、貪欲に夢に向かっていきたいと思えます。

多文化共生時代に生きる力を養う

## 自身の生き方と未来の可能性を豊かにする留学制度

敬和学園大学では、充実した海外留学

制度を用意し、多文化共生時代に生きる力を養うための留学を推奨しています。アメリカ、イギリス等の提携校留学に加え、学生自らが留学先となる国や機関を選択する自由留学制度があります。希望者は、国際交流係やアドバイザー教員との相談を積み重ね、自分の能力や興味を最大限に生かせる留学先を選びます。短期（最低四週間）と長期（十五週間以上・奨学金制度あり）があり、帰国後、一定の単位が認められます。留学期間も修業年限に組み込まれるため、四年間での卒業が可能です。留学は自身の生き方、未来の可能性を豊かにするための手段です。皆さんの果敢な挑戦をお待ちしています。

（国際交流委員長 山崎由）



留学先のホストファミリーと  
（右が佐々木さん）

## 理解し合うことと認め合うこと



英語文化コミュニケーション学科 年

佐々木 雛

私は語学とダンスを学ぶために一ヶ月間口サンゼルスに留学し、多くのことを学んできました。

まず、異なる文化を持つ人とコミュニケーションをとることの楽しさを知りました。考え方が異なり、英語の発音も若干異なる人たちとコミュニケーションをとり、お互いに理解し合うことで、同じ人間でも育つ国や環境で考え方が大きく変わることがわかり、他の国の文化への興味も高まりました。次に、お互いを認め合うことの大切さを知りました。これはダンス学校で特に感じたことです。日本でダンスをしている時は、お互いへのライバル心が強く、踊ることを楽しむというより、プレッシャーを感じる時がありました。しかし、口サンゼルスではそのようなプレッシャーは感じる事がなく、ダンスが好きだという共通点をお互いに認め合い、声援を送り、拍手をして、純粹に踊ることを楽しめました。

日本では経験できなかったこれらのことを、これからの生活につなげていきたいです。

高校生の英語力向上を応援

## 英検対策講座と資格特待生のご案内

五月二一日に中学・高校生向け「英検二級・準二級対策講座」を開催し、二級二二名、準二級三八名の方にご参加いただきました。長時間でしたが、皆さん熱心に取り組まれ、「試験の流れを知ることができた」「勉強法、解き方を学べてとてもためになった」等の感想をいただきました。次回は九月二十四日（土）に開催します。ふるってご参加ください。

敬和学園大学には、入学時までに英検二級以上またはTOEIC五五〇点以上を達成すると授業料全額が免除される「新入生資格特待生制度」があります。英語で学びをひろげるチャンスですので、ぜひご活用ください。

（英語文化コミュニケーション学科 上野）



次回開催は9月24日（土）、  
ホームページからお申込みください



アメリカからの留学生と本学学生との交流の二週間

## 「日本文化・日本語研修プログラム」のご報告

### 敬和生同士の友情も深まりました



英語文化コミュニケーション学科 北 愛実

「日本文化・日本語研修プログラム」(JCLP)が六月六日〜十七日に開催されました。アメリカのハーワード大学(ワシントンD.C.)から七名の参加者を迎え、本学学生と積極的な交流を展開しました。日本語学習のほか、書道、和太鼓、座禅を体験し、今回事となる佐渡島訪問も加わり、それぞれに好評を得ました。週末ホームステイにおいても温かいおもてなしがありました。日に日に、JCLPをサポートする学生の輪が広がり、社会問題や日米文化を英語で議論する姿も見られました。別れ際には、二週間で深めた友情の温もりを分かち合い、再会を誓い合う日米学生の姿が印象的でした。

(国際交流委員長 山崎由)



英語クラスにJCLP学生も参加

昨年に続きJCLPに参加できて感謝しています！今年にはハーワード大学から来た学生と敬和生が一つになり、数え切れないほどの思い出をつくりました。私たち敬和生は、積極的に英語でハーワードの学生とコミュニケーションをとることでよい刺激が与えられ、勉強への意欲が高まりました。みんなで「銭湯」に行ったことはよい思い出です。日本独特の文化ですが、留学生たちもとてもリラックスできたと言ってくれました。

私はJCLPに参加するたびに思われることがあります。それは、人は二週間でこんなにも仲良くなれるのだということ。一緒にご飯を食べ、授業に参加し、遊ぶことで、何ものにも変え難い「友情」が生まれました。この友情は、留学生に対してだけではありません。敬和生同士もJCLPをきっかけにもっと仲良くなり、新しい仲間を増やしました。JCLPは、どの学生でも参加ができるので、学年や学科が違ってても、友達になることができます。今年も大切な仲間がいっぱいできてとても幸せです。

学生・保護者・教職員で取り組む就職活動

## 三年生保護者就職懇談会のご報告

三年生保護者の皆さまとの就職懇談会を七月二三日、新潟グラウンドホテルにて開催しました。

前半は敬和学園大学の就職状況やキャリアサポート体制等について説明を行い、後半は学生を直接担当するアドバイザー教員とテーブルを囲み、学生一人ひとりの進路についての情報を交換しました。和やかな雰囲気で行われた懇談会ですが、就職活動が本格的にスタートする今後を見据え、真剣な表情で教職員たちと意見交換する保護者の皆さまの姿が印象的でした。

参加した保護者の方からは「参加して本当によかった」といううれしいお言葉もいただきました。

(就職委員会・キャリアサポート課)

保護者の皆さまに  
キャリアサポート体制を説明

## 卒業生がエクアドル地震の復興を支援



一九九七年度卒業

高橋 力

直 (旧姓：内田)

四期生の高橋力と直です。私たち家族は南米エクアドルに移住して八年になります。

四月一六日、ペデルナレス沖で発生した地震から早二ヶ月半が経過しました。現在までで確認された死者数は約九〇〇人と当国の調査機関は報告が出ております。私たちは微力ながらも、この小国エクアドルの復興のために、Groupo A I A I Rep.として日本からの救済金を受け取らせていただき、被災地への復興支援を行っております。水や食料、衣料をメインに行っていた支援が、直近では建物の再建に方向転換しはじめてき



ペデルナレスでの被害調査



マタン地方への救援物資の調達

ました。国の方針で、再建支援は政府が指揮を執ることになっており、下手に動く、皆さまからの救済金を没収される可能性もあり、なかなか大きな動きができませんが、お預かりしたご支援は必ず活用させていただきます。現在まで、皆さまからの救済金はおかげさまで日本の口座に七万五千二百〇〇円、エクアドルの口座で一九七ドルとなりました。心より御礼申し上げます。

ハプニングに強く、したたかにハッピーを築いていく(被災家屋や支援物資泥棒含め)エクアドル人のたくましさや情けなさ。その一方で自分の生活も苦しいのに、救援のために寄付するどころまでもお人よしで、心根の優しいエクアドル人。そんな憎めない彼らを、今後も引き続き応援していきたいதாக、よろしくお願ひ申し上げます。

## 熊本地震ボランティアに参加して



英語文化コミュニケーション学科四年

熊倉 千夏

今回、にいがた災害ボランティアネットワークさまの学生派遣として、熊本県へ行ってきました。私たちは、御船町社会福祉協議会さまのところで、主に震災で滞ってしまった業務のお手伝いをしてきました。また、町の視察や被害に遭ったお宅にも伺わせていただきました。被害の状況を実際に目の当たりにし、地震の甚大さを感じました。被災地では、大雨の影響もあり、仮設住宅の建設や家屋の片付けが遅れています。一日も早く、現地の方が安心して暮らしていただけるよう、今後も支援活動を続けていきたいです。



熊本県御船町でのボランティア活動

## リベラルアーツと学生寮

敬和学園大学は、「リベラルアーツ教育」に力を入れています。リベラルアーツ教育とは、人間らしい人間となるための「真の人間教育」です。どんな職業に就くにしても、最も大切なのは、自由な心を持ち、人間らしい判断力を備えた「人間性」です。リベラルアーツ教育は、知育・徳育・体育という多面的な「全人教育」ともいうことができます。あるいは、徳育を強調して「人格教育」、さらに「良心」や「品性」のある「市民教育」ということもできるでしょう。

自由な心を持ち、人間らしい判断力を備えた「人間性」は、自ら進んで物事を行っていく自主性やサービスピース精神に富み、他人との協調性やコミュニケーション能力などと密接に関わっています。それらを養うのは、大学教育の演習や実習、インターシップやアクティブラーニング、あるいは課外活動の中でのボランティア活動やクラブ・サークル活動などで、培われていきます。

しかし、それらの時間をはるか越えて寝食を共にして共同生活を営む学生寮での生活は、「同じ釜の飯を食う」という表現がありますように、クラブ・サークル仲間などとは一味違って、さらに友情を深め、人間性をも培っていきます。

大学は、一二世紀に中世ヨーロッパの修道院のリベラルアーツ教育から始まり

ました。それ以来、リベラルアーツ教育は寮教育と両輪をなして推し進められてきました。実は『ハリー・ポッター』やロビン・ウィリアムズ主演映画『今を生きる』はリベラルアーツ教育の学生寮を舞台とした青春ドラマでもあるのです。

敬和学園大学は、創立二五周年記念事業の一環として、新発田駅前の複合施設の中に産官学の連携の下で、遅まきながら学生寮を開設しました。地域社会でアクティブラーニングを行い、大学ばかりでなく地域社会の人々からも学び、地域社会に貢献する人物の育成の場となることを願っています。

(学長 山田)



リベラルアーツの学びを深める学生寮

## 寮生みんなが楽しく暮らしています



英語文化コミュニケーション学科一年

須貝 郁美

学生寮での生活にも慣れ、毎日友達や先輩と楽しく生活しています。

寮では、食事を用意してもらうことができます。私は料理が苦手なので、毎日おいしいご飯が出てくるのはとてもうれしいです。友達とおしゃべりしながら食べるご飯はもっとおいしく感じるし、後片付けもみんなでするの楽しいです。先輩は、大学のことを教えてくれたり、相談にのってくれます。寮監さんは英語の先生をしていた方なので、生活のアドバイスや新発田市の魅力に加えて、英語も教えてくれます。

新しい環境での生活がはじまった時は、不安でいっぱいでしたが、たくさんいい友達や先輩、寮監さんに出会うことができ、今はこの寮に入ってくよかったなと心から思います。男子寮はほぼ埋まっていますが、女子寮にはまだ空きがあります。来年、たくさんの新入生が入ってくれたらもっと賑やかに楽しく思います。

私たち寮生一期生は、寮生活のルールづくりなど、まだまだやるのがたくさんあります。これからもみんな協力してがんばりたいです。

## 二〇一六年度後援会総会の報告

四月五日、新発田市民文化会館にて入学式が挙行され、引き続き二〇一六年度後援会総会を開催しました。顧問の敬和学園大学山田耕太学長よりごあいさつをいただき、議事に入りました。はじめに小竹城事務局長より二〇一五年度決算報告、次に宮村孝理事より二〇一六年度事業計画ならびに予算について、最後に、規約の改定(会費の額と納入方法の変更)について私より説明を行い、皆さまの賛意のもと承認いただきました。

今年度も後援会では、山田学長をはじめ教職員の方々と、日ごろの学生たちの様子や保護者からの要望等を伺いなが

ら、就職に向けた三年生保護者対象「就職懇談会」を七月に、また、一・二年生保護者対象「懇談会」と企業関係者を招き敬和学園の方針と理解を深めていただくための「企業懇談会」を一月に、さらに多くの企業を大学へお招きする「学内合同企業説明会」を三月に開催し、キャリアサポート課、就職委員会の教職員の皆さまと共に支援します。二〇一五年度も九六%を超える驚異的な就職率を継続しています。学生たちの資質はもとより、関係者の皆さまのご尽力に深く感謝します。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。(後援会長 清水)

## 三五周年記念募金

(二〇一六年五月二日現在、敬称略)

## 〈一般〉

安藤 眞知子、後藤 喜恵、本間 正己、廣瀬 圭太・恵子・智彰・愛未(2)、石井 富男、伊藤 國夫、神野 志伸、川村 邦彦、川村 雅子、川崎 和雄、中村 忠雄、笹川 寛、鈴木 昭夫、高橋 英生、渡辺 英明、保田 均、横山 明裕・由美子、株式会社チバミン、株式会社蒲城、株式会社北信、株式会社イノウエ、一般財団法人下越総合健康開発センター、菊水酒造株式会社、源川医科器械株式会社、阿佐ヶ谷教会、新潟教会、一般財団法人新潟ろうきん福祉財団、新発田管工事業協同組合、新発田建設株式会社、篠田労務管理事務所、新発田ヤクルト販売株式会社

## 〈卒業生・在学生・保護者〉

田中 美香(一)

## 〈学園関係〉

新井 明、藤野 豊、畠山 直人、金山 愛子、菅野 浩、北垣 景子、北垣 宗治、桑原 ヒサ子、小西 二巳夫、村田 茜、西澤 昭夫、杉村 使乃、安井 豊子、山田 耕太

## 収入の部

単位：円

科目	2015年度予算	2015年度決算	2016年度予算
後援会費	19,495,000	19,330,000	19,320,000
寄付金	10,000	25,000	10,000
雑収入	1,000	1,789	1,000
学生団体より戻入れ金	200,000	535,644	200,000
収入小計	19,706,000	19,892,433	19,531,000
前年度繰越	2,037,202	2,037,202	1,487,834
収入の部合計	21,743,202	21,929,635	21,018,834

## 支出の部

単位：円

科目	2015年度予算	2015年度決算	2016年度予算
事業活動費	3,400,000	3,075,424	3,430,000
会議費	200,000	146,760	200,000
事務費	30,000	30,000	30,000
通信費	2,260,000	1,854,331	2,240,000
印刷製本費	1,600,000	1,218,294	1,616,000
手数料	20,000	4,536	10,000
学生クラブ補助費	3,000,000	3,000,000	3,000,000
学生開放施設光熱費補助	700,000	700,000	700,000
学園祭補助費	3,000,000	3,000,000	3,000,000
体育施設設備費	4,757,625	4,757,625	4,757,625
駐車場施設設備補助費	1,858,000	1,858,000	0
その他の施設設備補助費	73,000	73,000	73,000
旅費交通費	80,000	51,000	80,000
雑費	600,000	575,711	400,000
予備費	164,577	97,120	1,482,209
支出小計	21,743,202	20,441,801	21,018,834
次年度繰越金	0	1,487,834	0
支出の部合計	21,743,202	21,929,635	21,018,834

## 社会のあり方を見直すための視野を提供

「国際人権」とは、国際社会で共通の人権基準を作成し、それを地球上のどこであつても同じように保障しようとする人類の英知の結晶の一つです。従つて、日本の人権も他国と同様に国際人権の観点から見つめ直され、改善が求められてきました。講義では国内外の人権問題を、国際人権の観点から評価し、紹介しています。学生たちには、この講義を通じて社会のあり方を考え直す契機にして欲しいです。この講義は法学科目の国際人権法をベースにしています。法的な思考が多く出てきますが、それに限定されない視野も提供していますので、多くの学生に受講して欲しいと思っています。



オープンキャンパスで法学を教える藤本先生

### 体系的に学ぶことで深まる知識



国際文化学科四年  
長瀬 美郷

私が「国際人権論」を受講した理由は、一、二年生で「日本国憲法」と「国際法」を受講し、法についての関心が高まったからです。この授業では、人権についての性質を日本国憲法や国際法の授業を振り返りながら理解するところから始まります。そして、国際人権保障体制の成立過程と国際人権法についての理解を深めていきます。授業は、国際法の授業を発展させたものなので、難しいと感じることも多くあります。しかし、先生がスライドに沿って、とても丁寧な説明で授業を進めてくれるので、理解に苦しむことは少ないです。授業中は、先生の説明をしっかりと聴き、板書以外のこともノートに記録するようにしています。後で見返したときに、先生の説明を思い出し、理解できていることを実感するとうれしくなります。前期末試験を控えています。不安と共にこれまでの理解度をはかることができる楽しみもあります。これからの授業も真剣に取り組み、後期も受講して国際人権保障についての理解を深めたいと思います。

皆さまからの記念募金は、学生寮や奨学金などに活用させていただきます。

〈郵便振替口座〉

〇〇五五〇・五・一〇二四二三

敬和学園大学

### 寄付者ご芳名

(二〇一六年五月三二日現在、敬称略)

一般寄付者

〈一般〉

後藤 晋、高橋 眞澄

京都丸太町教会シオン会、

新発田教会、見附教会(2)

〈学園関係〉

敬和学園大学同窓会、

後援会、オレンジ会(2)

( )内、漢数字は期生、算用数字は回数

皆さまからのご寄付は、学生生活の充実に活用させていただきます。

〈郵便振替口座〉

〇〇六三〇・九・一九八九六

敬和学園大学

## 選手・社会人のベースにある敬和教育



二〇二一年度卒業  
武下 利一

トナミ運輸株式会社に勤務し、品質管理部で働きながら、バドミントン部の主将をしています。仲のよいチームで、リオ・オリンピックに出場した佐々木翔先輩からもかわいがってもらっています。

今年の大きな目標としていた全日本実業団選手権大会では、チームとして優勝できました。また個人でも、ナショナルチームA代表に選ばれ、トマス杯では、日本チームベスト八と悔しい結果でしたが、ニュージーランドオープンではシングルス二位と結果を残せました。

敬和学園大学での四年間は、よい思い出ばかりです。新発田市は、出身地の佐賀県に似て、過ごしやすい街でした。人生の中で大学時代に一番勉強をしました。遠征の多かった私に、それぞれの先生方がマンツーマンで指導してくださり、勉強だけでなく、社会に出てからの大人との接し方を学びました。アドバイザーの富川先生は、私にとって常に面倒を見てくれる親戚のオッチャンみたいな存在でした。休みの日に釣りに連れて行ってもらったこともよい思い出です。バドミントン部の松浦監督は、高校時

代は攻め一辺倒だった私に、相手の様子を見て、タメをきかせて相手の待ちをははずすことを教えてくれました。とにかく、基本的なことをしっかりと叩き込まれたことが、今のプレーの土台となっています。今でも、松浦監督は、富山県に来れば必ず顔を出してくれますし、私も敬和の合宿に参加させてもらっています。

大学時代で一番印象に残っているのは、三年生のインカレで準決勝で負けた試合です。しばらく気持ちの整理がつかなかった私に、松浦監督は「大丈夫だから、ここから一からはじめよう」と声をかけてくれました。松浦監督の指導は、間違いがありません。バドミントン部の先輩たちは、監督を信じて、あとは自分で一生懸命やれば、必ず強くなれます。社会人、選手としてのベースをつくってくれた敬和の教育に感謝しています。



ナショナルチームA代表として活躍する武下さん

## 学事予告

◆八月◆  
五日 夏期休暇(九月二八日まで)  
前期集中講義期間(一一日まで)

聖籠町キッズカレッジ(陶芸教室)①  
八日 教員免許状更新講習

二〇日 AO入学試験(二期) 面談日①

二一日 オープンキャンパス④

二五日 前期追試験(二六日まで)

二七日 AO入学試験(二期) 面談日②

聖籠町キッズカレッジ(陶芸教室)②

◆九月◆  
二二日 AO入学試験(二期) 面談日①

二四日 中・高生向け英検対策講座②

二八日 前期卒業式

二九日 秋季入学式

三〇日 後期履修相談日

◆一〇月◆  
一日 後期講義開始

AO入学試験(二期) 面談日②

履修登録期間(七日まで)

一七日 学費後期納入最終日

二〇日 新発田市オープンカレッジ⑤

二一日 ふれあいバラエティ

二二日 敬和祭(二三日まで)

大学紹介&進学相談会(二三日まで)

二八日 新発田市オープンカレッジ⑥

◆十一月◆  
二日 相談援助実習(体験実習)

三日 ウイークデー・オープンキャンパス

五日 一・二年生保護者との懇談会

聖籠町キッズカレッジ(英語教室)②

九日 企業との就職懇談会

一〇日 新発田市オープンカレッジ⑦

一二日 推薦入学試験(一期)

一四日 相談援助実習②(二六日まで)

二五日 クリスマスツリー点灯式

## 4 April

- 1 学年始め  
 5 入学式、保護者ガイダンス、後援会総会  
 9 履修相談日  
 11 前期講義開始  
 履修登録期間（～22日）  
 13 お花見ランチ  
 15 チャペル・アッセンブリ・アワー①  
 新入生歓迎公開学術講演会（183名）  
 講師 本井康博 元同志社大学神学部教授  
 「リベラル・アーツ・カレッジで学ぶ」  
 16 学生寮開寮式  
 共生社会学科1年生新発田市内見学  
 学長杯高校生交流テニス大会（～17日、写真①）  
 21 新入生オリエンテーション（～22日、月岡温泉ホテル泉慶）  
 27 履修登録確認期間（～5月10日）  
 豊栄高校大学見学（3年生4名）



## 5 May

- 6 チャペル・アッセンブリ・アワー②  
 説教 下田尾治郎 宗教部長「隣人となること」  
 講話 金田卓也 新潟県警察本部刑事部組織犯罪対策第一課  
 薬物銃器対策係長「薬物乱用のない社会を」  
 阿賀北ロマン賞授賞式  
 13 チャペル・アッセンブリ・アワー③  
 説教 金山愛子 教授「木を育てるように人を育てる」  
 ゲートキーパー講座  
 村上由布子 新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部主任  
 原睦美 新発田市健康推進課主任  
 阿部洋子 聖籠町保健福祉課主任保健師  
 2016年度入学記念植樹式（ユリノキ1本）  
 19 新入外国人学生歓迎会（写真②）  
 20 チャペル・アッセンブリ・アワー④  
 説教 藤野豊 教授  
 「麗水から小鹿島へ、韓国で考えた“地の塩”」  
 講話 松永堡智 新潟福音キリスト教会牧師  
 「確認を絶えず怠らず」  
 21 英検2級・準2級一次・二次試験対策英語集中講座①  
 （2級22名、準2級38名）  
 27 チャペル・アッセンブリ・アワー⑤  
 説教 浅妻和章 敬和学園高校教諭「いまを共に」  
 講話 エイキミナコ 絵本作家・  
 イラストレーター  
 「わたしにできること」



## 6 June

- 3 チャペル・アッセンブリ・アワー⑥  
 説教 山崎ハコネ 准教授  
 「与えられる恵み、分けあう喜び」  
 講話 佐藤沙 学生部長「『星の王子さま』の行間へ」  
 6 JCLP（日本文化・日本語研修プログラム）（～17日、7名）  
 9 共生社会学科見学実習  
 10 チャペル・アッセンブリ・アワー⑦  
 説教 三村修 日本基督教団佐渡教会牧師「パンを水に」  
 講話 小笠原春野 非暴力コミュニケーションファシリテーター  
 「See me beautiful」  
 11 大学オープンカレッジ（117名、写真③）  
 講師 斎藤伸夫 児童文学者  
 「わたしの好きなファンタジー②」  
 13 相談援助実習1（～25日）



- 17 チャペル・アッセンブリ・アワー⑧  
 説教 下田尾治郎 宗教部長「正義と恵みの業」  
 JCLP 参加留学生によるスピーチ  
 新発田市立東中学校上級学校訪問（3年生70名）  
 19 オープンキャンパス①（130名、写真④）  
 22 高校教員対象進学説明会  
 24 チャペル・アッセンブリ・アワー⑨  
 説教 英語文化コミュニケーション学科2年 北愛実「感謝」  
 本学留学生によるスピーチ  
 国際文化学科4年 金妍優さん  
 国際文化学科3年 王影さん  
 英語文化コミュニケーション学科2年  
 TRAN Thi Huong さん  
 24 創立記念日  
 25 高校大学合同研修会



## 7 July

- 1 チャペル・アッセンブリ・アワー⑩  
 説教 山田耕太 学長「オバマ大統領の広島演説」  
 講話 林雅行 株式会社クリエイティブ21代表取締役・映画監督  
 「ドキュメンタリーにこだわりの、映画・TVをつくる」  
 新津南高校大学見学（保護者10名）  
 2 スポーツ大会（約200名）  
 英検2級二次試験対策英語集中講座（4名）  
 6 新発田農業高校大学見学（生徒4名、保護者14名）  
 ボランティア論・学習セミナー  
 講師 高橋美香 フォト・ジャーナリスト「思ったらやる」  
 解説 富川尚 教授  
 8 チャペル・アッセンブリ・アワー⑪  
 説教 下田尾治郎 宗教部長  
 「神の業があらわれるため」  
 講話 金田彩夏 本学卒業生  
 「Happy country?」  
 10 オープンキャンパス②（66名）  
 12 新潟市内立野中学校上級学校訪問  
 （3年生3名）  
 13 コンプライアンス・研究倫理研修会  
 新発田南高校インターンシップ（～15日）  
 15 チャペル・アッセンブリ・アワー⑫  
 説教 田中弘子 日本基督教団三条教会牧師  
 「どうしてそんなことが」  
 ボランティア活動報告  
 サンタプロジェクト、ふれあいバラエティほか  
 16 聖籠町キッズカレッジ（英語教室）①  
 粟島フェア（まちカフェ・りんく）  
 21 新発田市オープンカレッジ①～④（22、28、29日、62名）  
 講師 加藤宗哉 作家・前「三田文学」編集長  
 「日本人にとってのキリスト教」（写真⑤）  
 22 チャペル・アッセンブリ・アワー⑬  
 「キリスト教音楽」の受講者によるコーラス  
 講話 加藤宗哉 作家・前「三田文学」編集長  
 「文章表現に関すること」  
 「地域学」学生による発表会  
 23 3年生保護者との就職懇談会（新潟グランドホテル、46名）  
 25 新潟東高校大学見学（2年生12名）  
 26 加茂高校大学見学（1年生39名）  
 28 前期講義終了  
 29 前期末試験（～8月4日）  
 佐渡総合高校大学見学（2年生19名）  
 30 オープンキャンパス③（106名）  
 三条商業高校大学見学（3年生2名、保護者7名）



## 敬和学園財務状況等のご報告

学校法人敬和学園の財務状況を報告します。本学園の予算・決算は、法人本部・大学・高等学校の三部門で構成されていますが、紙面の都合、法人全体と大学部門の数値のみの記載、内容も大学部門の事業活動収支計算書のポイントのみの説明とさせていただきます。図表をご覧ください。ただし、詳細をお知りになりたい方は、敬和学園大学総務課までお問い合わせください。なお文部科学省による学校法人会計の一部改正に伴い、二〇一五年度決算から新しい会計基準に準拠して計算書類を作成しています。

## ●二〇一五年度事業報告

地域連携においてはこれまで、阿賀北口マン賞、地域連携センター、まちカフエ・りんくなどのプロジェクトを実施してきましたが、併せて、二〇一五年七月に新発田市と包括連携協定を締結し、市からの助成を受け、JR新発田駅前複合施設「イクネス」したMINTO館内に定員四〇名の学生寮を設置しました。三月に引渡しを受け、二〇一六年度より二六名の入寮生を迎え正式に開寮しました。今後、さらに教育寮として充実させていく所存です。

学生寮、新発田学研究センター、まちカフエ・りんくを起点として、従来の点や線であった活動を面とする、「まちなかキャンパス化構想」を実現するために、本学が長年積み重ねてきた地域貢献事業をさらに発展させることとなりました。

(2015年度オープンカレッジ 総合テーマ「知る喜び」)

日程	演題	講師	参加者数
敬和学園大学 [絵本講座] 会場：敬和学園大学			
7月 4日(土)	わたしの好きなファンタジー	斎藤惇夫氏(児童文学者)	95
新発田市 [現代社会・地域社会を多角的に知る] 会場：新発田学研究センター、新発田市地域交流センター			
6月 4日(木)	EUに大統領はいるのか ーいろいろなリーダーシップの形ー	富川尚 教授	7
6月 11日(木)	健康維持のためのマッサージとストレッチ ータイのマッサージ文化と歴史を学ぶー	梶浦麻子 非常勤講師	18
6月 18日(木)	日英語のことば遊び	上野恵美子 教授	11
10月 29日(木)	ドイツ写真家の見た新潟	ハンス＝クリスティアン・シンク氏	24
11月 19日(木)	フランスの家庭料理	マルチヌ・ツモト 非常勤講師	12
11月 26日(木)	新発田の和菓子を作ってみよう	新発田菓子業組合	15
聖籠町 キッズ・カレッジ [子ども陶芸教室] 会場：結いハート聖籠			
7月 4日(土)	子ども陶芸教室1	趙晤行 教授、陶芸部学生	35
8月 1日(土)	子ども陶芸教室2	趙晤行 教授、陶芸部学生	33
聖籠町 キッズ・カレッジ [子ども英語教室] 会場：聖籠町民会館			
7月 11日(土)	英語で遊ぼう！(その1)	英語文化コミュニケーション学科学生	17
8月 23日(日)	英語で遊ぼう！(その2)	英語文化コミュニケーション学科学生	6
新潟市北区 [多文化社会を知る] 会場：豊栄地区公民館			
10月 6日(火)	多文化共生社会と「やさしい日本語」を使ったコミュニケーション	有田佳代子 特任准教授	18
10月 20日(火)	難民の受け入れと多文化共生社会	藤本晃嗣 准教授	18
その他			
4月 10日(金)	敬和学園大学創立25周年記念・新入生歓迎公開学術講演会「悪と愛について」	姜尚中 東京大学名誉教授	346
5月 23日(土)	英検2級一次・二次試験対策 英語集中講座	中村義実 教授	17
5月 23日(土)	英検準2級一次・二次試験対策 英語集中講座	金山愛子 教授	16
6月 6日(土)	敬和学園大学創立25周年記念教育講演会・シンポジウム 「現代の教育課題と学校づくりの指針 ーすべての子どもがハッピーでありうる為にー」	藤田英典 共栄大学教育学部教授・副学長、東京大学名誉教授、日本教育学会会長	66
9月 19日(土)	英検2級一次・二次試験対策 英語集中講座	中村義実 教授	26
9月 19日(土)	英検準2級一次・二次試験対策 英語集中講座	上野恵美子 教授	27
10月 17日(土)	敬和学園大学創立25周年記念講演会： 戦後70年！今あらためて「歴史認識」を問う ー敬和から平和と人権を語る歴史学の発信を！ー	藤野豊 教授 丸島宏太 教授 山崎由紀 准教授 木下光弘 専任講師	230
3月 13日(日)	「新発田学研究センター」開所9周年記念講演会 石坂浩二氏による朗読会と対談 「阿賀北口マン賞」授賞式	石坂浩二氏(俳優)	158



さらに、新潟大学が採択された「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(ＣＯＣ土)」の参加校として本学も加わり、「ブランドینگによる新潟の魅力開発と地域活性化」の事業に参画し、活動を開始しました。

新発田市の有力者を構成員とするオンライン学会より協力を得て開講している科目「地域学」を継続すると共に、二〇一五年度より一年生全員の必修科目として、「地域学入門」を開講し、学生の地域理解を一層深めることができました。さらに地域に受け入れられる人材育成の一貫として、インターシップとの組み合わせ等により学生のキャリア形成を行い、成果を得るよう努めていくことにしました。また、二〇一五年度よりカリキュラムを、学科やコースの縦断的だけでなく、横断的に履修しさまざまな副專攻的な理解を深めることができるよう、七つのプログラム(地域経営、キリスト教教育、英語イマージョン、児童英語教育、日本語教育、グローバル市民情報メディア)を立て、学生に履修を推奨することにしました。これらが新たな本学の人材育成の骨子となり、リベラルアーツ教育の理解を進めることになりました。

加えて、二〇一六年度より国際文化学科に歴史探究コースを新設する等、新カリキュラムの導入準備が完了し、リベラルアーツ教育の充実を図る準備が整いました。

このほか、玉川大学通信教育部との提携により、従来の中学と高校の英語・社会科教員免許に加えて、小学校教員免許

2015年度資金収支計算書及び2016年度同予算書(学校法人 敬和学園)

(収入の部) (単位:円)

科 目	2015年度決算額	2016年度予算額	差 異
学生生徒等納付金収入	983,362,413	996,509,000	△ 13,146,587
手数料収入	16,282,078	15,450,000	832,078
寄付金収入	38,782,319	61,050,000	△ 22,267,681
補助金収入	543,204,064	370,375,000	172,829,064
(国庫補助金収入)	(275,877,188)	(96,800,000)	(179,077,188)
(地方公共団体補助金収入)	(267,326,876)	(273,575,000)	(△ 6,248,124)
資産売却収入	626,372,383	948,264,000	△ 321,891,617
付随事業・収益事業収入	101,925,359	112,214,000	△ 10,288,641
受取利息・配当金収入	10,857,241	5,268,000	5,589,241
雑収入	58,582,688	37,309,000	21,273,688
借入金等収入	20,000,000	0	20,000,000
前受金収入	174,254,500	165,624,000	8,630,500
その他の収入	263,792,311	66,466,000	197,326,311
資金収入調整勘定	△ 452,107,355	△ 193,757,000	△ 258,350,355
前年度繰越支払資金	627,803,353	797,167,230	△ 169,363,877
収入の部合計	3,013,111,354	3,381,939,230	△ 368,827,876

(支出の部) (単位:円)

科 目	2015年度決算額	2016年度予算額	差 異
人件費支出	1,043,453,842	1,051,350,000	△ 7,896,158
教育研究経費支出	369,816,515	318,421,000	51,395,515
管理経費支出	148,608,984	170,433,000	△ 21,824,016
借入金等利息支出	2,673,802	2,666,000	7,802
借入金等返済支出	32,000,732	15,060,000	16,940,732
施設関係支出	456,927,588	250,000	456,677,588
設備関係支出	57,739,913	38,349,000	19,390,913
資産運用支出	244,161,216	863,579,000	△ 619,417,784
その他の支出	92,672,369	90,672,000	2,000,369
予備費	0	3,000,000	△ 3,000,000
資金支出調整勘定	△ 261,727,520	△ 734,130,000	△ 188,314,520
翌年度繰越支払資金	826,783,913	901,572,230	△ 74,788,317
支出の部合計	3,013,111,354	3,381,939,230	△ 368,827,876

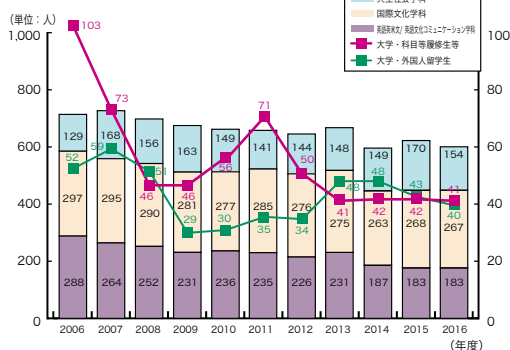
(2015年度決算 事業活動収支計算書関係比率)

※比率の高低の評価は次のとおり。

△高い値がよい ▼低い値がよい ~どちらともいえない (%)

比率名・算出方法	法人全体	大学
人件費比率 ▼	67.6	63.0
人件費依存率 ▼	107.9	80.0
教育研究経費比率 △	30.6	31.4
管理経費比率 ▼	12.5	12.4
借入金等利息比率 ▼	0.2	0.0
事業活動収支差額比率 △	0.6	-7.1
基本金組入後収支比率 ▼	106.9	110.3
学生生徒等納付金比率 ~	62.7	78.8
寄付金比率 △	2.3	2.6
補助金比率 △	31.0	13.1
基本金組入率 △	7.1	3.0
減価償却額比率 ▼	9.1	7.2
経常収支差額比率 △	-11.0	-7.0
教育活動収支差額比率 △	-11.6	-8.4

(敬和学園大学学生数の推移)



を取得できるようにしました。

二〇一五年度より、専任のキャンパスソーシャルワーカーを配置した「学生支援センター」を設置し、生活や学習に課題を抱える学生を支える仕組みづくりを行いました。

以上の教学面での改革等が、本学の学生の士力の向上を支え、キャリア形成に結びつくことで学生募集にも寄与することが期待されます。

### ●二〇一五年度決算

当年度収支差額（旧会計基準、消費収支差額）は七、九四三万円の支出超過となり、基本金組入前当年度収支差額（旧会計基準、帰属収支差額）も五、五八七万円の支出超過となりました。予算と比較して、当年度収支差額は一、七三二万円、基本金組入前当年度収支差額は一、七〇三万円、それぞれ支出超過が減額し改善されました。

活動ごとの収支では、教育活動収支差額は六、五四八万円の支出超過、教育活動外収支差額は一、〇三二万円の収入超過、特別収支差額は七二万円の支出超過となりました。

収入面では、学生数の増加により定員充足率も改善されたため、学納金と補助金で二〇一四年より約三、五〇〇万円の増収となりました。創立記念募金の収入も計上されており、支出面では、学生寮設置に関する施設設備等で約八、五〇〇万円を支出しました。また創立二五周年記念事業（記念講演会・シンポジウム、記念誌発行）、ＬＬ教室・パソコン

### 〈2015年度貸借対照表〉

2016年3月31日現在  
〈学校法人 敬和学園〉

(単位：円)

科目	年度	科目	年度
	2015年度末		2015年度末
固定資産	4,642,516,476	固定負債	410,201,242
有形固定資産	4,107,100,583	長期借入金	184,249,880
土地	693,935,764	退職給与引当金	206,191,904
建物	2,818,989,475	長期未払金	19,759,458
構築物	30,534,269	流動負債	464,469,016
教育研究用機器備品	56,518,964	短期借入金	15,060,346
管理用機器備品	29,363,094	未払金	256,205,908
図書	476,496,272	前受金	174,254,500
車輛	1,262,745	修養会預り金	9,832,931
建設仮勘定	0	預り金	8,998,331
特定資産	14,248,632	仮受金	117,000
退職給与引当特定資産	10,000,000	負債の部合計	874,670,258
施設拡充引当特定資産	4,248,632	基本金	8,020,849,309
第2号基本金引当特定資産	0	第1号 基本金	7,900,849,309
その他の固定資産	521,167,261	第2号 基本金	0
電話加入権	1,803,056	第4号 基本金	120,000,000
施設利用権	362,574	繰越収支差額	△2,379,194,914
ソフトウェア	14,708,164	翌年度繰越収支差額	△2,379,194,914
有価証券	461,231,007	純資産の部合計	5,641,654,395
長期貸付金	5,600,000		
出資金	2,025,500		
長期預け金	35,436,960		
流動資産	1,873,808,177		
現金預金	826,783,913		
未収入金	248,495,005		
有価証券	794,385,751		
前払金	3,360,600		
立替金	635,212		
仮払金	147,696		
資産の部合計	6,516,324,653	負債及び純資産の部合計	6,516,324,653

### 2015年度事業活動収支計算書及び2016年度同予算書（学校法人 敬和学園）

(単位：円)

	2015年度決算額	2016年度予算額	差 異	
教育活動収支	収入			
	学生生徒等納付金	983,362,413	996,509,000	△ 13,146,587
	手数料	16,282,078	15,450,000	832,078
	寄付金	38,561,119	59,450,000	△ 20,888,881
	経常費等補助金	359,293,421	361,225,000	△ 1,931,579
	随時事業収入	101,925,359	112,214,000	△ 10,288,641
	雑収入	58,582,688	37,309,000	21,273,688
	教育活動収入計	1,558,007,078	1,582,157,000	△ 24,149,922
	支出			
	人件費	1,060,802,870	1,063,138,000	△ 2,335,130
教育研究経費	480,477,056	419,644,000	60,833,056	
管理経費	195,970,824	215,575,000	△ 19,604,176	
徴収不能額等	1,184,560	0	1,184,560	
教育活動支出計	1,738,435,310	1,698,357,000	40,078,310	
教育活動収支差額	△ 180,428,232	△ 116,200,000	△ 64,228,232	
活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	10,857,241	5,268,000	5,589,241
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	10,857,241	5,268,000	5,589,241
	支出			
	借入金等利息	2,673,802	2,666,000	7,802
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	2,673,802	2,666,000	7,802	
教育活動外収支差額	8,183,439	2,602,000	5,581,439	
経常収支差額	△ 172,244,793	△ 113,598,000	△ 58,646,793	
特別収支	収入			
	資産売却差額	50,000	0	50,000
	その他の特別収入	185,191,794	11,250,000	173,941,794
	特別収入計	185,241,794	11,250,000	173,991,794
	支出			
	資産処分差額	2,306,678	210,000	2,096,678
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	2,306,678	210,000	2,096,678
	特別収支差額	182,935,116	11,040,000	171,895,116
	(予備費)	0	3,000,000	△ 3,000,000
基本金組入前当年度収支差額	10,690,323	△ 105,558,000	116,248,323	
基本金組入額合計	△ 123,922,288	△ 54,581,000	△ 69,341,288	
当年度収支差額	△ 113,231,965	△ 160,139,000	46,907,035	
前年度繰越収支差額	△ 2,265,962,949	△ 2,573,780,978	307,818,029	
翌年度繰越収支差額	△ 2,379,194,914	△ 2,733,919,978	354,725,064	
(参考)				
事業活動収入計	1,754,106,113	1,598,675,000	155,431,113	
事業活動支出計	1,743,415,790	1,704,233,000	39,182,790	

ン入替なども事業計画どおり実施しました。二〇一五年度も教育環境の整備・充実をすすめることができました。

●二〇一六年度当初予算

当年度収支差額は一億三、八六四万円の支出超過、基本金組入前当年度収支差額も一億二、四二八万円の支出超過となりました。

活動ごとの収支では、教育活動収支差額は一億二、六六八万円の支出超過、教育活動外収支差額は五〇〇万円、特別収支差額は四〇〇万円のそれぞれ収入超過となりました。

収入は、予算学生数の減少により学納金は減収となり、事業活動収入計は二〇一五年度決算より一、七四八万円の減額となりました。一方、支出は、学生寮の運営費や人件費増加のため、事業活動支出計は前年度決算より五、〇九一万円の増額となり、その結果、収支差額は一億を超える大幅な支出超過となりました。二〇一六年度も学習環境にかかる予算は確保し、スクールバス入替、大教室・中教室プロジェクト入替、部室棟屋根塗装工事などを予定しております。

予算収支は大変厳しい結果となりましたが、予算執行にあたり、補助金の活用、寄付金の募集強化および経費見直しに努め、決算ではできる限り収支改善を図りたいと考えています。  
(事務局)

2015年度事業活動収支計算書及び2016年度同予算書（敬和学園大学）

(単位：円)

		2015年度決算額	2016年度予算額	差 異
教育活動収支	収入			
	学生生徒等納付金	622,883,000	603,490,000	19,393,000
	手数料	10,059,478	9,650,000	409,478
	寄付金	19,747,649	29,150,000	△ 9,402,351
	経常費等補助金	103,919,316	109,350,000	△ 5,430,684
	付随事業収入	2,467,072	2,830,000	△ 362,928
	雑収入	21,272,949	13,877,000	7,395,949
	教育活動収入計	780,349,464	768,347,000	12,002,464
	支出			
	人件費	498,193,676	524,742,000	△ 26,548,324
教育研究経費	248,449,929	263,298,000	△ 14,848,071	
管理経費	98,325,135	106,992,000	△ 8,666,865	
徴収不能額等	863,000	0	863,000	
教育活動支出計	845,831,740	895,032,000	△ 49,200,260	
教育活動収支差額	△ 65,482,276	△ 126,685,000	61,202,724	
活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	10,316,083	5,003,000	5,313,083
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	10,316,083	5,003,000	5,313,083
	支出			
	借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	10,316,083	5,003,000	5,313,083	
経常収支差額	△ 55,166,193	△ 121,682,000	66,515,807	
特別収支	収入			
	資産売却差額	50,000	0	50,000
	その他の特別収入	621,575	500,000	121,575
	特別収入計	671,575	500,000	171,575
	支出			
	資産処分差額	1,384,285	100,000	1,284,285
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	1,384,285	100,000	1,284,285
	特別収支差額	△ 712,710	400,000	△ 1,112,710
	(予備費)	0	3,000,000	△ 3,000,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 55,878,903	△ 124,282,000	68,403,097	
基本金組入額合計	△ 23,554,349	△ 14,360,000	△ 9,194,349	
当年度収支差額	△ 79,433,252	△ 138,642,000	59,208,748	
前年度繰越収支差額	31,904,068	△ 67,158,932	99,063,000	
翌年度繰越収支差額	△ 47,529,184	△ 205,800,932	158,271,748	
(参考)				
事業活動収入計	791,337,122	773,850,000	17,487,122	
事業活動支出計	847,216,025	898,132,000	△ 50,915,975	

2015年度資金収支計算書及び2016年度同予算書（敬和学園大学）

(収入の部)

(単位：円)

科 目	2015年度決算額	2016年度予算額	差 異
学生生徒等納付金収入	622,883,000	603,490,000	19,393,000
手数料収入	10,059,478	9,650,000	409,478
寄付金収入	19,705,849	29,150,000	△ 9,444,151
補助金収入	103,919,316	109,350,000	△ 5,430,684
(国庫補助金収入)	(101,367,188)	(96,800,000)	(4,567,188)
(地方公共団体補助金収入)	(2,552,128)	(12,550,000)	(△ 9,997,872)
資産売却収入	430,574,558	860,264,000	△ 429,689,442
付随事業・収益事業収入	2,467,072	2,830,000	△ 362,928
受取利息・配当金収入	10,316,083	5,003,000	5,313,083
雑収入	21,272,949	13,877,000	7,395,949
前受金収入	135,854,500	135,570,000	284,500
その他の収入	243,873,660	38,299,000	205,574,660
資金収入調整勘定	△ 196,064,216	△ 127,550,000	△ 68,514,216
前年度繰越支払資金	465,541,230	609,360,230	△ 143,819,000
収入の部合計	1,870,403,479	2,289,293,230	△ 418,889,751

(支出の部)

(単位：円)

科 目	2015年度決算額	2016年度予算額	差 異
人件費支出	488,785,560	513,294,000	△ 24,508,440
教育研究経費支出	197,972,276	222,500,000	△ 24,527,724
管理経費支出	88,039,017	101,782,000	△ 13,742,983
施設関係支出	7,267,433	0	7,267,433
設備関係支出	28,165,442	19,668,000	8,497,442
資産運用支出	214,005,362	763,579,000	△ 549,573,638
その他の支出	249,346,599	66,487,000	182,859,599
予備費	0	3,000,000	△ 3,000,000
資金支出調整勘定	△ 23,754,225	△ 40,299,000	16,544,775
翌年度繰越支払資金	620,576,015	639,282,230	△ 18,706,215
支出の部合計	1,870,403,479	2,289,293,230	△ 418,889,751

# Gems in KEIWA

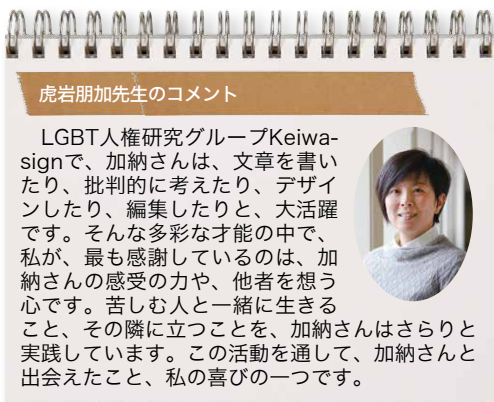
チャレンジ学生ファイル Vol.52

一緒に生きる仲間の力になる活動

英語文化コミュニケーション学科4年  
加納 由季



弁護士会でのLGBT研修会（左が加納さん）



### 虎岩朋加先生のコメント

LGBT人権研究グループKeiwa-signで、加納さんは、文章を書いたり、批判的に考えたり、デザインしたり、編集したりと、大活躍です。そんな多彩な才能の中で、私が、最も感謝しているのは、加納さんの感受の力や、他者を想う心です。苦しむ人と一緒に生きること、その隣に立つことを、加納さんはさりりと実践しています。この活動を通して、加納さんと出会えたこと、私の喜びの一つです。



「LGBT」という言葉を知っていますか。同性愛者や両性愛者、トランスジェンダーなどの性的少数者を意味する言葉です。私はLGBT人権研究グループ「Keiwa-sign」で、LGBTへの理解を深め、差別をなくすための活動をしています。まだ活動を始めたばかりですが、LGBTについての意識化を図るため、アンケート調査や研修会、公開セミナーを行うなど精力的に活動しています。

近年、LGBTは「ブーム」になりつつあります。ブームであるということは、いつかは波が去っていくということにもつながるかもしれません。しかし、注目されてもされなくても、LGBT当事者はすぐそこにいるのです。LGBTを一時的流行りで終わらせたくない。一緒に生きる仲間として力になりたい。この活動が、敬和を卒業しても残る道標を私の中につくってくれました。LGBTについて学んでいると、時にはつらい現実を知ることもあります。でもその現実にも真摯に向き合い、行動しようとする人がいることも知りました。そんな人たちの隣に立てるよう、これからもっと勉強し、積極的に活動していきたいです。



敬和学園大学の最新情報

敬和学園大学

検索

www.keiwa-c.ac.jp

